

チャ

薬剤名	系統区分	作用機 構分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 焼 病	網 も ち 病	白 星 病	新 梢 枯 死 症	炭 疽 病	も ち 病	輪 斑 病	灰 色 か び 病	黒 葉 腐 病	白 紋 羽 病	褐 色 円 星 病
I C ボルドー66DFL	無機	M1		*a	-	◎				◎						
コサイド3000DF	無機	M1		14	-	◎	◎		輪	◎	◎					◎
サンボルドー水	無機	M1		21	-	◎				◎	◎					
Z ボルドー水	無機	M1		7	-	◎	◎			◎	◎					
ドイツボルドーA水	無機	M1		14	-	◎	◎			◎	◎					
インダーFL	DM I	3		7	2		◎			◎	◎					◎
オンリーワンFL	DM I	3		7	2		◎		◎	◎	◎					◎
スコア顆水	DM I	3		7	2		◎			◎	◎					◎
トリフミン水	DM I	3		14	3					◎	◎					
ラリー水	DM I	3		14	2		◎			◎	◎					
アミスター20FL	Q o I	11		14	3				輪	◎	◎	◎				
ストロビーFL	Q o I	11		10	3		◎		◎	◎	◎	◎				
スクレアFL	Q o I	11		3	3		◎		◎	◎	◎	◎				
フリントFL25	Q o I	11		14	2				◎	◎	◎	◎				◎
ナリアWDG	Q o I・アミト [®]	11・7		7	2		◎		◎	◎	◎	◎		◎		◎
ロブラール水	ジ [®] カルボキシミト [®]	2		21	2								◎			
トップジンM水	ベンゾ [®] イミダゾール	1		7	1			◎		◎		◎		◎		◎
ベンレート水	ベンゾ [®] イミダゾール	1		14	1			◎		◎		◎				◎
				-	1										根	
スターナ水	他	31		7	2	◎										
スパットサイド水	他	M11		7	2					◎	◎	◎				
ダコニール1000FL	他	M5		10	1		◎		輪	◎	◎	◎	◎	◎		◎
フロンサイドSC	他	29		14	1		◎		輪	◎	◎	◎	◎			◎
ベルコートFL	他	M7		7	2				◎	◎		◎				
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		14	2	◎			輪	◎		◎				◎

*a:最終摘採後

輪:新梢枯死症(輪斑病菌による)

根:苗木根部24時間浸漬

チャ

チ
ヤ

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ ミ カ ン	チ ヤ ノ キ イ ロ	ア ブ ラ ム	シ ン ジ ウ ム	シ ン ジ ウ ム	ク ワ シ ロ	カ イ ガ ラ	ツ ノ ロ	ツ マ グ ロ	チ ヤ ト ゲ	ハ ス モ ン	チ ヤ ノ コ カ ク	チ ヤ ノ ホ ソ	チ ヤ ノ ミ ド リ	ナ ガ チ ヤ コ ガ ネ	チ ヤ ノ ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ハ ダ ニ	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ
エスマルクDF	B T	11A		*k	-												◎	◎					
デルフィン顆水	B T	11A		*i	-												◎	◎	◎				
トアロー水CT	B T	11A		*k	-												◎	◎					
スピノエースFL	スピンソ	5		7	2	◎											◎	◎	◎	◎			
ハマキ天敵水	微生物	31		*i	-												◎	◎					
除虫菊乳3	ヒュロイト	3A		10	3													◎	シ				
ハマキコン-N	フェン	-		*h	-												◎	◎					
ミルベノック乳	マロライト	6		7	1	◎				◎								◎				カ	◎◎
石灰硫黄合剤	無機	UN		*o	-																	◎	サ
スプレーオイル乳	天然物由来	-		*a	-				◎													◎	
				*c	-				◎	◎												◎	
ハーベストオイル乳	天然物由来	-		*e	-				◎	◎													
				*m	-																	カ	
ラビサンスプレー乳	天然物由来	-		*e	-				◎	◎												◎	
アタブロン乳	I GR	15		14	2												◎	◎	◎				
アブロード水	I GR	16		14	2					若	◎										幼		
カスケード乳	I GR	15		7	2	◎				◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ノーモルト乳	I GR	15		7	1													◎	◎				
ファルコンFL	I GR	18		7	2								◎				◎	◎	◎	◎			
マッチ乳	I GR	15		7	1	◎											◎	◎	◎	◎			
ロムダンFL	I GR	18		14	2												◎	◎	◎				
マトリックFL	I GR	18		7	2												◎	◎	◎	◎			
オリオン水40	カーバメト	1A	劇	14	3													◎					
オマイト乳	殺ダニ	12C		14	2																	カ	◎
カネマイトFL	殺ダニ	20B		7	1																	カ	
サンマイトFL	殺ダニ	21A	劇	14	2	◎														◎	カ	◎◎	◎
ダニゲッターFL	殺ダニ	23		7	1						◎											カ	◎◎
ダニコングFL	殺ダニ	25B		7	1																	カ	
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		7	2																	カ	
ダニトロンFL	殺ダニ	21A		7	2				◎									◎			◎	カ	◎

チャ

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ ミ カ ン ア ブ ラ ム シ	チ ヤ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	カ イ ガ ラ ウ ム シ	ツ ノ ロ ウ ム シ	ク ワ シ ロ カ イ ガ ラ ム シ	ツ マ グ ロ ア オ カ ス ミ カ メ	チ ヤ ト ゲ コ ナ ジ ラ ミ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	チ ヤ ド ク ガ	チ ヤ ハ マ キ	チ ヤ ノ コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ノ ホ ソ ン ガ	ナ ガ チ ヤ コ ガ ネ	チ ヤ ノ ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ハ ダ ニ 類	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ		
テデオン乳	殺ダニ	12D		30	1																カ		
バロックFL	殺ダニ	10B		14	1																	カ	
ピラニカEW	殺ダニ	21A	劇	21	1															◎		カ	
マイトクリーン水	殺ダニ	21A		14	1												◎					カ	サ◎
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		*j	1																	カ	◎
エクシレルSE	ジァミト	28		7	1	◎						◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎				
サムコルFL10	ジァミト	28		3	1							◎		◎	◎	◎	◎	◎					
フェニックスFL	ジァミト	28		7	1							◎	◎	◎	◎	◎	◎	シ					
ヨーバルFL	ジァミト	28		7	1	◎									◎	◎	◎	◎	◎				
ディアナSC	ズノシ	5		1	1	◎					◎				◎	◎	◎	◎					
アクタラ顆溶	ネコチノイト	4A		7	1	◎	◎				◎										◎		
アドマイヤー顆水	ネコチノイト	4A	劇	7	1	◎					◎					◎					◎		
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	ネコチノイト	4A		7	2	◎	◎				◎					◎					◎		
ダントツ溶	ネコチノイト	4A		7	1	◎	◎				◎	◎					◎				◎		
バリアード顆水	ネコチノイト	4A	劇	7	1	◎	◎									◎					◎		
ベストガード溶	ネコチノイト	4A		7	2	◎																◎	
モスピラン顆水	ネコチノイト	4A	劇	7	1	◎										◎						◎	
パダンSG溶	ネイストキシ	14	劇	10	1	◎										◎						◎	
アディオン乳	ヒレスロイト	3A		14	1	◎										◎	◎					◎	
アーデント水	ヒレスロイト	3A		14	3	◎											◎	◎				◎	カ
スカウトFL	ヒレスロイト	3A	劇	7	3												◎					◎	
テルスター水	ヒレスロイト	3A		14	2	◎									◎	◎	◎	◎				◎	カ
トレボン乳	ヒレスロイト	3A		21	2	◎											◎					◎	
マブリック水20	ヒレスロイト	3A	劇	21	2	◎	◎				◎					◎	◎	◎				◎	カ
ロディー乳	ヒレスロイト	3A	劇	7	1	◎					◎	◎			◎	◎	◎	◎				◎	
MR. ジョーカー水	ヒレスロイト	3A		21	2	◎									◎	◎	◎	◎				◎	
キラップFL	フェニルピラ ゾール	2B		7	1	◎					◎						◎						
アフーム乳	マクロイト	6		7	1	◎						◎			◎	◎	◎	◎					◎
エルサン乳	有機リン	1B	劇	*n	2					◎				◎		コ							
エンセダン乳	有機リン	1B		*f	1	◎									◎	◎	◎	◎				◎	カ◎

チ
ヤ

チャ

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	チャノキイロアザミウマ類	カイガラムシ類	ツノロウムシ	クワシロカイガラムシ	ツマグロアオカスミカメ	チャトゲコナジラミ	ハスモンヨトウ	チャヤドク	チャヤハマキ	チャノコカクモンハマキ	チャノホソソク	ヨモギエダシヤク	ナガチヤコガネ	チャノミドリヒメヨコバイ	ハダニ類	チャノホコリダニ
オルトラン水	有機リン	1B		45	1	◎									◎				◎		
カルホス乳	有機リン	1B	劇	21	1				◎					コ	◎	◎					◎
ショットガン乳	有機リン	1B	劇	*b	1				◎												
スブラサイド乳40	有機リン	1B	劇	14	1	◎	◎	◎	◎					コ	◎				◎		
スミチオン乳70	有機リン	1B		21 90	1 1					◎				コ					成 幼		
ダーズバン乳40	有機リン	1B	劇	14	2				◎					◎	◎						
粘着くん液	天然物由来	-		1	-															カ	
フロンサイドSC	他			14	1																◎
ウララDF	他	29		7	1	◎	◎			◎	◎								◎		
コテツFL	他	13	劇	7	2	◎				◎				◎		シ		◎	カ	◎	◎
コルト顆水	他	9B		7	2	ア	◎		◎	◎									◎		
ハチハチ乳	他	21A	劇	14	1	◎			◎	◎					◎				◎		◎
アブロードエースFL	殺ガニ・IGR	21A・16		14	2		◎	◎	◎	◎					◎				◎		◎

- *a: 5~9月
- *b: 最終摘採後~12月まで
- *c: 10~3月
- *e: 夏期(5~9月)、秋冬期(10~3月)
- *f: 最終摘採後~萌芽前(但し摘採60日前まで)
- *h: 成虫発生初期~終期
- *i: 発生初期(但し摘採前日まで)
- *j: 摘採14日前まで(但し遮光する栽培では遮光開始14日前まで)
- *k: 発生初期(但し摘採7日前まで)
- *m: 発芽前又は摘採直後
- *n: 最終摘採後~冬期まで
- *o: 夏期、冬期

ア: アブラムシ類
 カ: カンザワハダニ
 コ: コカクモンハマキ(チャノコカクモンハマキの旧名称)
 サ: サビダニ類
 シ: シャクトリムシ類
 若: 若齢幼虫
 成: 成虫
 幼: 幼虫

チ

ヤ

チャ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病、 もち病、 網もち病	5～7月 9～10月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル#1 2000～3000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 ダコニール1000#2 1000倍 Zボルドー(水)#3 400～500倍 ストロビーフロアブル#4 2000倍 フロンサイドSC 2000倍	炭疽病は、雨の多い年や日照の少ない樹陰地の茶に発生が多い。 #1網もち病 2000倍 #2炭疽病、もち病 700～1000倍 #3炭疽病 400倍 #4炭疽病 2000～3000倍
ツマグロア オカシカ メ	5月上旬～ 7月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ロディー乳剤 1000倍 アクタラ顆粒水溶剤 3000倍	防除は萌芽期から1葉期までに行う。
チャドクガ (チャケム シ)	5～11月	1.若齢幼虫中に捕殺する。 2.最終摘採後から冬期までに散布する。 エルサン乳剤 1000倍	チャドクガの幼虫は、5～6月及び7～8月に発生する。
チャハマ キ、チャノ コカクモン ハマキ	4月下旬～ 5月上旬 (一番茶前) 6月中旬～ 7月上旬 (二番茶前) 7月下旬～ 8月中旬 (二番茶後) 9月上旬～ 10月中旬	1.成虫密度を下げてからハマキコン-Nを150～250本/10a処理すると効果がある。 2.次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 スピノエースフロアブル チャハマキ 4000倍 チャノカクモンハマキ 2000～4000倍 コテツフロアブル# 2000倍 フェニックスフロアブル 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍	#チャノコカクモンハマキのみに登録 二番茶葉に被害が多い。 幼虫が葉裏の表皮下に潜入している時期に防除する。
チャノホソ ガ(チャノ サンカクハ マキ)	4月上旬～ 下旬 5月下旬～ 6月中旬 7月上旬～ 下旬 8月上旬～ 下旬 9月中旬～ 10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 4000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 アドマイヤー顆粒水和剤 5000～10000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍	

チ

ヤ

チャ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
チャノミドリヒメヨコバイ	6月上旬～ 10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤 2000～3000倍 アディオン乳剤 2000～3000倍 コテツフロアブル 2000倍 スプラサイド乳剤40 1000倍 ヨーバルフロアブル 2500倍	二、三番茶期の芽に被害が多い。
ナガチャコガネ幼虫	10月中旬～ 11月中旬	・被害発生部にスミチオン乳剤70を土壌灌注する(2000～4000倍、1㎡あたり5ℓ)。	6～7月に出現した成虫は、土中に産卵。幼虫が根を食い翌年の一番茶が減収する。
クワシロカイガラムシ	5月中旬～ 下旬 7月中旬～ 下旬 9月中旬～ 10月上旬 (幼虫ふ化期)	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤 2000～3000倍 アプロードエースフロアブル#1 1000倍 スプラサイド乳剤40#1 1000～1500倍	幼虫ふ化期に防除する。ふ化後の幼虫は小さく見つけにくい。5月中旬頃カイガラをはがして卵～幼虫がこぼれてくる状態から孵化最盛期となる。#1カイガラムシ類での登録
	秋冬期 (10～3月)	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ハーベストオイル 50～100倍	
ツノロウムシ	6月上旬～ 9月下旬	・次の薬剤を散布する。 スプラサイド乳剤40# 1000～1500倍	幼虫ふ化期に防除する。 #カイガラムシ類での登録
カンザワハダニ	秋冬期～ 春期発芽前 又は摘採直後	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ハーベストオイル 50～150倍	かぶせ茶園では必ず防除を行う。 晩霜害のあった場合は多発しやすいので、殺ダニ剤による防除を励行する。 殺ダニ剤は、みる芽につくと葉害が生ずることがある。
	3月中旬～ 下旬(萌芽前) 5月下旬～ 6月中旬 (一番茶摘採直後) 8月上旬～ 11月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル 1000倍 ダニゲッターフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 バロックフロアブル 1000～3000倍	
チャノナガサビダニ	4～6月 9～11月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイトフロアブル 1000～2000倍 ミルベノック乳剤 1000倍	一番茶摘採後に発生が多い。

チ

ヤ